



by HARMAN

JBL GO

取扱説明書

安全上のご注意

- 使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

⚠ 注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

- 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

🚫 禁止（してはいけないこと）を示す記号です。

🔧 分解してはいけないことを示す記号です。

🚫 濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。

🚫 水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。

⚠ 指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。

⚠ 警告

🚫 対応以外の USB ケーブルを使わない。 電池の破裂や液漏れ、過熱などにより、火災やけが、周囲の汚損の原因となります。

🔧 分解や改造をしない。 火災や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。

🔥 煙が出る場合、異常なおいや音が出る場合は、すぐに電源を切る。 煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社東京サービスセンターに修理を依頼してください。

🚫 水道の蛇口付近や風呂場などの濡れている場所や水気の多い場所では使用しない。 火災・感電の原因となります。

🚫 本機の内部に水などが入った場合は、本機の電源を切り、販売店または弊社東京サービスセンターに点検を依頼する。 そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

🚫 直射日光が当たる場所や、温度が異常に高くなる場所（暖房機のそばなど）に設置しない。 本体の外装や内部回路に悪影響が生じ、火災の原因になることがあります。

🚫 音が歪んだ状態で長時間使用しない。 スピーカーが発熱し、火災の原因になることがあります。

🚫 航空機の中で使用するときは航空会社の指示に従う。 航空機の計器などの誤作動の原因となる恐れがあります。ご使用前に航空会社にご確認ください。

⚠ 注意

🚫 不安定な場所や振動する場所に設置しない。 本機が落下して、破損やけがの原因になります。

🚫 本機を叩いたり、蹴ったり、踏んだりしない。 破損やけがの原因になります。特に小さいお子さまにはご注意ください。

🚫 濡れた手で本機に触れない。 感電や本機の内部に水が入り、故障の原因になることがあります。

🚫 薬物厳禁 ベンジン・シンナー・合成洗剤等で外装をふかない。また、接点復活剤を使用しない。外装が傷んだり、部品が溶解することがあります。

内蔵電池についてのご注意

- ❗ **内蔵電池の液が漏れたときは直ちに火気より離す。** 漏液した電解液に引火し、破裂、発火する原因になります。また内蔵電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因になります。
 - 液が漏れたとき
 - 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火気より離してください。乾いた布などでよくふいてください。
 - 液が目に入ったとき
 - 目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。
 - 液が体や衣服についたとき
 - すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い流してください。
- ❗ **内蔵電池について以下のことに注意する。** 本製品はリチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する恐れがあります。
 - 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。また、直射日光のあたる場所、高温多湿の場所、車中等に放置しないでください。
 - 使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変色、変形、その他今までと異なる場合は使うのを止めてください。
 - 電子レンジや高压容器に入れないでください。
 - 水、海水、ジュースなどで濡らさないでください。
 - 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - 所定の時間を超過しても充電が終わらない場合は、充電を止めてください。
 - 本書で指定している以外の方法で充電しないでください。

Bluetooth® に関するご注意

本機は、2.4GHz の周波数帯の電波を利用しています。この周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器（電子レンジやコードレス電話など）で使用されています。以下のような場所で本機を使用する場合、送信 / 受信ができなくなることがあります。

- 2.4GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。（環境により電波が届かない場合があります。）
- ラジオから離してお使いください。（ノイズが出る場合があります。）
- テレビにノイズが出た場合、本機（および本機対応製品）がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなどのアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があります。本機（および本機対応製品）をアンテナ入力端子から遠ざけて設置してください。

⚠ 注意

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、全ての Bluetooth 機器との接続動作を保証するものではありません。
- 弊社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

安全にお使いいただくために

- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を制限された場所では電子機器や医療用電気機器に影響を与え、事故の原因となる恐れがあります。ご使用前に航空会社、医療機関にご確認ください。

ご注意ください電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他自動制御機器など。

ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。ただし、以下の行為を行うと法律により罰せられることがあります。

- 本機を分解 / 改造すること。

周波数について

この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FHSS（周波数拡散方式）を採用し、想定される干渉距離は約 10m です。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- 1 この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
- 2 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、弊社東京サービスセンターにご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談して下さい。
- 3 その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社東京サービスセンターへお問い合わせ下さい。

本機の特長

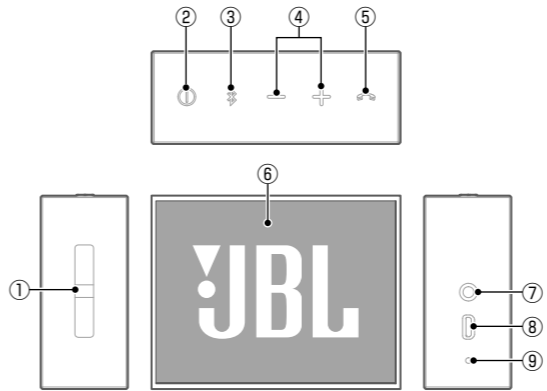
- ◆ Bluetooth で手軽にワイヤレス再生
- ◆ リチウムイオンポリマー電池内蔵のポータブル仕様 1.5 時間の充電で最大 5 時間の音楽再生が可能です。
- ◆ ハンズフリー通話（エコー&ノイズキャンセル対応）
- ◆ 3W のハイパフォーマンス シングルスピーカー
- ◆ 耐久性のあるシリコン素材を採用
- ◆ ストラップを装着可能（ストラップは付属しません）
- ◆ 外部入力端子×1

付属品

お使いになる前に、以下の付属品がすべてそろっていることをご確認ください。

- 充電用 USB ケーブル
- 多言語取扱説明書
- 日本語取扱説明書（本紙）
- 保証書（日本国内用）

各部の名称とはたらき



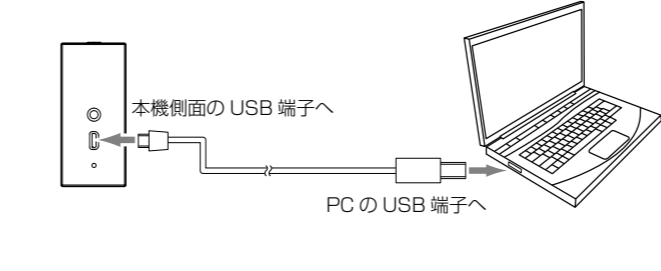
- ① ストラップ取り付け穴
市販のストラップを取り付けることができます。
- ② 電源ボタン
- ③ Bluetooth ボタン
- ④ 音量ボタン
- ⑤ ハンズフリー / コントロールボタン
- ⑥ LED ランプ
- ⑦ オーディオ入力端子
付属の USB ケーブルを使って、本機を充電するときに使用します。
※ 本機は PC と接続して充電を行いますが、USB スピーカーとして使用することはできません。
- ⑧ USB 端子
- ⑨ マイク

充電する

付属の USB ケーブルで、PC または電源コンセントから充電します。充電時間は約 1.5 時間*です。

* 内蔵電池が空の状態から満充電になるまでの時間です。

PC から充電する場合は、付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、PC の USB 端子に接続します。



電源コンセントから充電する場合は、市販の USB 対応 AC アダプタが必要です。

付属の USB ケーブルを本機の USB 端子と、USB 対応 AC アダプタの USB 端子に接続し、USB 対応 AC アダプタを電源コンセントにつなぎます。

USB 対応 AC アダプタは、5V 1A 以下の市販品をお使いください。

充電中は本機の LED ランプが赤く点灯し、満充電になると消灯します。充電が完了したら、USB ケーブルを本機からはずしてください。

内蔵電池残量について

ご使用中、本機の LED ランプが青から赤に変わったら充電してください。

内蔵電池が空に近い状態になると、LED ランプが赤く点滅します。

Bluetooth 機器の音声を聞く

本機の Bluetooth 機能を使って iPhone/iPod/iPad や Bluetooth に対応したオーディオ機器とワイヤレス接続して、ストリーミング再生します。

▶ ペアリングを行う

Bluetooth 機能を使ってストリーミング再生を行うには、はじめに本機と Bluetooth 対応機器を認識させる「ペアリング」が必要となります。本機と機器を一度ペアリングすれば、その後に再度ペアリングを行う必要はありません。

ただし、別の機器とペアリングを行った場合は、その機器と接続されている状態のため、接続を解除し、前の機器と再びペアリングを行う必要があります。

iPhone/iPod/iPad でペアリングを行う

- ① 電源ボタン (Ⓚ) を押して電源を入れる。
- ② Bluetooth ボタン (📶) を押す。
LED ランプが点滅し、ペアリング設定状態になります。
- ③ iPhone/iPod/iPad を、ペアリング設定状態にする。
「設定」→「一般」→「Bluetooth」の順にタップした後、「Bluetooth」を「オフ」から「オン」にします。
Bluetooth に接続できる機器の一覧が表示されます。
- ④ デバイスから「JBL GO」を選択します。
「接続されました」と表示されたらペアリングが完了し、本機の LED ランプが点滅から点灯に変わります。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、iPhone/iPod/iPad の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。

その他の機器でペアリングを行う

以下の手順は一例です。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

- ① 電源ボタン (Ⓚ) を押して電源を入れる。
- ② Bluetooth ボタン (📶) を押す。
LED ランプが点滅し、ペアリング設定状態になります。
- ③ 相手側機器を、ペアリング設定状態にする。
接続する機器側で、本機を検出可能な状態に設定します。
パスキーが必要な場合は「0000」と入力します。
一部の機器では、接続を確認するメッセージが表示されます。
ペアリングが完了すると、本機の LED ランプが点滅から点灯に変わります。

本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶していますので、ペアリングを行ったあとは、本機の電源を入れ、接続したい機器の Bluetooth をオンにするだけで Bluetooth 接続することができます。


別の機器をペアリングするには

Bluetooth ボタン (📶) を押します。
または、ペアリングしている機器の Bluetooth をオフにします。
別の相手側機器をペアリング設定状態にし、ペアリングを行ってください。

▶ Bluetooth 再生を行う

Bluetooth 再生を行うには、ペアリングを行ったあと本機を再生機器として設定します。

iPhone/iPod/iPad で設定する


- ① iPhone/iPod/iPad 画面を下から上へスワイプする。
- ②  アイコンをタップする。
- ③ 「JBL GO」をタップする。



その他の機器で設定する


▶ 接続した機器で再生を始める。


接続する機器によって再生の手順は異なります。詳細については、接続する機器の取扱説明書も合わせてご覧ください。

Bluetooth 接続中は、 ボタンで以下のコントロールを行うことができます。(機種により、一部の機能を使えない場合があります。)

- 1 回押す：再生 / 一時停止します。
- 2 回押す：押すごとに曲戻し / 曲送りします。

ハンズフリー通話を行う

iPhone・携帯電話・スマートホンとハンズフリー（HFP）接続すると、本機の  ボタンで iPhone・携帯電話・スマートホンの簡単な操作を行うことができます。

 ボタンの操作		
状態	1 回押す	押し続ける
着信しているとき	電話を受けます。	着信拒否します。
通話中	電話を切ります。	本機から電話に通話を切り換えます。
通話中に別の着信があったとき	現在通話している電話を切り、着信している電話を受けます。	着信している電話を着信拒否します。

※ 機種により、一部の機能を使えない場合があります。
※ 携帯電話・スマートホンの取扱説明書も合わせてご覧ください。

トラブルシューティング

原因	解決法
本機の電源ボタンを押しても電源が入らない。	本機が充電されているかご確認ください。
電源は入るが、音が出ない。	ペアリングされているかご確認ください。 オーディオ入力ケーブルでオーディオ機器に接続している場合、音量をご確認ください。 オーディオ機器側の再生が一時停止になっていないかご確認ください。
音が歪む。	音量が上がりすぎている場合は音量を下げてください。
ペアリングできない。	お手持ちの機器が本機と対応しているかどうかご確認ください。 別の機器と接続していないかどうかご確認ください。本機は一度ペアリングを行った機器の情報を記憶しています。音楽を再生したい機器を再接続する場合は、近くのパ어링されている Bluetooth 機器をすべてオフにし、本機の電源を入れ直してください。

主な仕様

Bluetooth	Bluetooth4.1
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
オーディオ入力	Bluetooth × 1、外部入力 × 1
最大出力	3.0W
使用ユニット	40mm 径フルレンジスピーカー
電源	リチウムイオンポリマー電池
充電時間*	約 1.5 時間 (0.5A)
連続再生時間*	約 5 時間 (ボリュウムレベルや再生内容により異なります)
周波数特性	180Hz ~ 20kHz
外形寸法	幅 82.7mm × 奥行 30.8mm × 高さ 68.3mm
質量	130g
材質	ポリカーボネート、TPE (熱可塑性エラストマー) 他

※ ・電池は消耗品です。正しい方法であっても充電・放電を繰り返すと徐々に使用できる時間が短くなります。
・高温状態で保管すると、電池性能の劣化が早まります。直射日光があたりず、風通しの良い涼しい場所で保管してください。

▶ お手入れ

外装の汚れは、乾いた柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液を少し含ませた布でふき、その後乾いた布でふき取ってください。

▶ 本機の廃棄について



本機は内蔵電池として充電式リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池にはリチウムが含まれており、誤った使用、取り扱い、廃棄により爆発する危険性があります。本機に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルが可能です。

ご注意

感電などの危険があるため、本機を絶対に分解しないでください。

▶ HARMAN Owners' Club

この度は JBL 製品をご購入いただき誠にありがとうございます。HARMAN Owners' Club (ハーマンオーナーズクラブ) は、ハーマンインターナショナル取り扱い製品ご愛用者のための会員プログラムです。会員様に向けたさまざまな特典やサービスをお届けします。

<https://www.harman-ownersclub.jp>

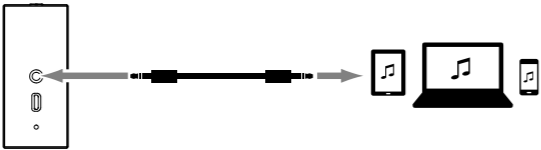
このアドレスからアクセスしてください。
携帯電話 (フィーチャーホン) からはご登録できませんのでご注意ください。

▶ アフターサポート

日本国内のアフターサポートに関する情報は、ハーマンインターナショナル株式会社ホームページに掲載しています。

<http://jbl.harman-japan.co.jp/support/>

オーディオ機器を接続する



市販の 3.5mm ステレオミニプラグ付きオーディオケーブルを使って、お手持ちのオーディオ機器・PC に接続し、音声を再生することができます。

- ① 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブル (市販) を使って、オーディオ機器・PC の音声出力端子と本機のオーディオ入力端子に接続する。
- ② オーディオ機器または PC で音声を再生する。
 - ・他の機器と Bluetooth 接続している場合は、Bluetooth 接続が優先されます。オーディオケーブルを使って接続する場合、初めに Bluetooth 接続を解除してください。